

# 委員会報告

## 総務委員会

委員長 平川 昌宏

会員の皆様方におかれましては平素より協会の理念に賛同し、その活動にご協力頂きまして誠にありがとうございます。今年度も震災有事の対策訓練や会員皆様のスキルアップ、会員相互の親睦を深めていただくために総務委員会では各イベントを企画してまいりました。以下あらためまして紹介いたします。

まず、4月には千葉県建設産業団体連合会主催、一般教養及び建設業に関する基礎知識習得のための新入社員研修会が開催され、会員企業6社7名が参加いたしました。

9月には千葉県県土整備部震災対策訓練に参加予定でしたが、9月5日発生 of 台風13号の対策の為延期となりました。また、同時に協会独自の災害情報伝達訓練、施工業者によるパトロールも予定されておりましたが、あわせて延期となりました。その後、県から11月中旬に令和6年1月17日実施予定の連絡がありました。

また、震災訓練の報告、改善を目的とした本部、施工業者、班長の合同会議と同日開催予定の実務者セミナーは令和6年1月30日開催予定です。

その他、ゴルフ大会は11月22日、忘年会は12月5日に開催いたしました。

## 事業委員会

委員長 浮ヶ谷 容徳

令和5年度の事業委員会の活動について、ご報告いたします。

### ○ 県との意見交換会について

この事業は、我々造園業界の状況や要望を県の関係部局幹部の皆様へ直接届ける場として毎年開催しています。本年度は、9月7日に千葉市のオークラ千葉ホテルで、会員皆様から頂きました要望・質問事項をまとめた要望書を元に、協会役員等14名と県からは県土整備部小川局長をはじめ17名の県職員の方に参加していただき、活発で有意義な意見交換の場となりました。

今後も引き続き様々な機会をとらえて、造園業界の発展のために県当局に質問意見を述べて行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

また、県当局からの要望で、「県造協の会員が、どのくらいの数の人が資格を保有しているのか教えてほしい」とありましたので、急遽、会員各位にアンケート調査を実施した次第です。結果、会員140社全会員より回答を頂きました。多くの会員の方に協力を頂き有難うございました。

### ○ 造園課程を置く高等学校との情報交換会

この事業は、将来の業界を担う人材育成を目的として、学校関係者、県当局を交えて毎年行っている情報交換会です。

今年度は、7月31日千葉市のオークラ千葉ホテルで、協会役員等14名と県学校関係者、流山・成田西陵・茂原樟陽・葉園台高等学校、我孫子高等技術専門校（教諭）5名と県庁商工労働部雇用労働課及び県土整備部建設・不動産課の担当職員3名計22名が出席し参加しました。

はじめに協会側から「後継者育成に係る協会の主な事業」の内容について説明を行い、その後学校側から出前授業、校外授業等についての要望、造園会社への就職状況、本年度の求人情報の提供などが出されました。これらの後継者育成に関し幅広い情報交換を行いました。

## ○法人の森整備事業（横芝光町）

山武郡横芝光町の法人の森整備事業は、平成28年3月、広葉樹のウバメガシ、タブノキ、モチノキなど9種類、614本の苗木を植樹しました。

その後、毎年度、生育調査・育成管理を実施してきましたが、令和5年3月31日県との協定期間が終了しました。

7年間にわたる生育調査結果及び客土、緑肥植物、防風ネットの効果や海岸防災林植栽の広葉樹植栽樹種の選定などの考察を取りまとめた報告書を作成し、令和5年7月関係する千葉県農林水産部森林課、千葉県北部林業事務所、千葉県森林研究所に提出しました。

## ○門松づくり講習会

協会員の皆様に、伝統技術の継承として始まった本格的な門松づくり講習会。

今までに数多くの協会員の皆様が参加していただき、それぞれの会社でも年末に製作しているとの声も聞くようになりました。

今年度も、協会員の皆様が講習を通じて作り上げられた門松は、県庁及びこども病院、リハビリテーションセンターに3門の門松を寄贈させて頂きました。

それぞれの寄贈先において、門松設置の際には温かい喜びの声と感謝の言葉を頂いております。

また、一般の方々へのミニ門松づくりは、今年度は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、いろいろな規制が緩和されましたので、昨年よりも参加人数を多くして、講習会を開催する運びとなりました。

少しでも多くの方が伝統文化へ触れる機会を増やしていけるよう、協会員の皆様の更なるご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会では、ちばの緑の発行を初め協会広報、パンフレット作成及びホームページによる広報活動をしています。また、広報活動の一環として小・中学校へ出張授業を委員会より講師を派遣し、造園業に関心を持っていただき、造園の仕事を理解して頂くようにしています。出張授業では、造園業だけで2時間の授業になり講師も4人に増やし市川塩浜学園（小中一貫校）4年生、栄町立安食台学校6年生達に日本庭園、インクルーシブル公園、造園技術、バラについて説明し熱心に聞き入っていました。ちばの緑は、協会事業の取り組みや、参考になることが掲載されています。会員の皆様に、事業につながればと思い、そして協会活動や、広報活動でわかりやすく紹介できるよう努めてまいります。お気づきの点や有益な情報などがございましたらどうぞ、お知らせ下さい。

実技試験（製作等作業試験）は令和5年7月29日（土）・30日（日）の2日間にわたり千葉県立我孫子高等技術専門校で実施しました。1級18名、2級73名の方が受験されました。また、判断等試験（要素）は8月25日（金）に、学科試験は8月20日（日）にちば仕事プラザで実施しました。

真夏の蒸し暑い中で実施されるため受験者には大変な実技試験となってしまいます。試験には制限時間等があり、正確、時間、体力、気力が一つでも欠けると合格出来ない試験です。令和5年度の合格者は1級1名、2級41名が合格されました。

造園技能検定推進委員会では100%の合格者を目指し対策講習会も実施しています。

製作等作業講習会では、技術を持つ講師が受講生に基本から親切丁寧に講習をし、パワーポイントを用いて製作順序や注意点も詳しく教え、指導を行っています。

また、判断等講習会（要素）では、実際に樹木の枝葉を見て試験さながらの講習をしています。

学科講習会では、過去問50年間分を厳選し講習しています。

講師の方々には大変ご尽力をいただき、千葉県の造園に対する知識、技術向上を目指していただきたいと思います。

今後、造園技能士を受験される方は、ぜひとも講習会の受講をお勧め致します。